

民生福祉常任委員会視察報告

視察日時 平成 27 年 5 月 14 日（木）13：30～16：00
視察先 島根県邑智郡邑南町
参加委員 下瀬俊夫委員長 石田清廉委員 岩本信子委員
小野泰委員 三浦英統委員 吉永美子委員
出席参与 川地 諭 杉山洋子 川崎浩美 河口修司
事務局 島津克則
邑南町議会 辰田議長 三上議会事務局長
邑南町説明員 原定住促進課長 田村課長補佐 山本主事 沖福祉課長
視察テーマ 「邑南町における定住促進と子育て支援策について」

1. 邑南町の行政について

- (1)平成 16 年 10 月に 2 町 1 村が合併し邑南町に。人口 11,300 人。広島県三次市と隣接し中国山地の県境に位置する、典型的な中山間地である。面積 419 k m²。
- (2)平成 22 年より過疎地域自立促進特別措置法により、27 年度までの 6 年間の「日本一の子育て村構想」を策定。医療、保健福祉、教育、生活環境などに人口増に対する具体的目標を設定し、定住促進のための子育て支援策を推進。合計特殊出生率が 2.65 と驚異的な数字となった。
- (3)「耕すシェフ」や定住人口増の施策等により、移住者が安心して子育てができる生活環境の整備や専任のコーディネーターを配置し、社会動態人口も増加しつつある。
- (4)「A 級グルメのまちづくり」を目玉に年間観光客 100 万人を目標に掲げている。観光協会の平成 25 年度予算約 9 千万円。

2. 質疑応答

- (1)人口定住増へのキーポイントは。
移住者は自然と地域の人のおよきに心が癒される。
様々な施策は過疎債をうまく活用している。
- (2)移住者にとって職と家が大事であり、企業誘致も必要ではないか。
物、金の至上主義ではない。人口 11000 人の 1%程度、毎年 100 人程度の移住者等で人口が増えればいい。
- (3)縦割りの行政の垣根をはずす対策は。
子育てに関しては推進本部があり、各課で調整できる体制がある。

(4)ブックスタートの内容は。

子育て支援のために3回行っているが、親が読む本を提供する。

(5)定住促進支援員の後継者づくりは。

地域に精通し、まちづくりに積極的な人を登用していく。

(6)合計特殊出生率が2.65というのは簡単に達成できる数値ではないが。

居住環境の整備などで安心して子育てができる環境があるのではないか。

(7)定住促進策としてUIターン者用の公営住宅や空き家改修への補助金制度を開始しているが、今後の方向性は。(UIターン用住宅は過疎債を利用)

確かに公営住宅が不足気味であり、空き家改修のいずれも力を入れる。

(8)東京サテライトオフィスの具体的な活動は。

著名人やゆかりのある人に業務委託をし、定住相談や特産物のPR等を行っている。

(9)各公民館への職員の配置と地域戦略は。

新採用の職員を中心に各公民館に配置し地域戦略を立てて地域のリーダー的な役割を果たすようにしている。

3. 考察

(1)人口減少や少子高齢化を口にする割に、具体的な施策に乏しい行政が多い中、人口増の目標設定と具体的な施策を展開している。

(2)UIターン者や「耕すシェフ」など定住促進のための施策を次々に打ち出し、移住者が安心して子育てや生活ができるよう生活環境の整備とともに専任のコーディネーターを配置している。

(3)各公民館を「地域戦略の拠点」と位置付け、若い職員を配置して地域戦略のリーダーとして成長させ、有能な職員として育てている。

など、消滅自治体どころか生き生きとしており、多くのことを学ばせていただいた。